



# 羽村市キルギス親善友好団 駐日大使も出席

## キルギス映画鑑賞で友好深める



羽村市とキルギス共和国との親善活動を行う同市キルギス親善友好団(小宮國暉代表幹事)は6月30日、同市ゆとろぎ小ホールでキルギス映画鑑賞会を開いた。80人ほどの市民が参加した。同市は東京2020オリンピックでキルギス男子柔道チームのホストタウンとなり、国際交流を深める様々な事業に取り組みを民間レベルで支えてきたのが同親善友好団で、キルギスが舞台となった「風の旅人」を歌い、同市キルギス友好親善ボランティア大使を務める三田りょうさんと協力し、これまでキルギスへのツアーや友好の集いを開催。絆を深めてきた。映画は「山嶺の女王」

19世紀、中央アジアでキルギス人の誇りを貫いた高地民族の女王クルマンジャン・ダトカの生涯を、壮大なシルクロードの大自然を舞台に描いた歴史ドラマ。2014年に製作された初のキルギス映画で、15年の福岡国際映画祭で上映され、高い評価を受けた。2時間を超す大作だが、多くの参加者が美しい画面で描かれる平和の叙

事詩を堪能した。上映に先立ち、並木前市長(写真左上)は「友好が深まり、映画上映が全国に広まり、キルギスが一層近い国になればうれしい」とあいさつ。小宮代表幹事(同右)や三田さん、アルスタンバエフ駐日キルギス大使らも舞台に立ち、鑑賞会の開催に感謝した。

なお、同親善友好団は8月25日発売で日本・キルギス国交30周年記念ツアーを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止した。

### 次期あきる野市長選展望

## 中嶋氏の優勢動かず 信認度1万5000票が試金石

次のあきる野市長選は無所属前職の村木英幸氏(65)と前議長で無所属新人の中嶋博幸氏(55)の自民、公明推薦の争いになると見られる。中嶋氏の優勢は動かず、投票率と中嶋氏の得票が焦点になる。

投票率は、2019年が41・78%、15年が44・42%、11年が40・35%で推移している。村木市長に退陣を突き付けた自公勢力は勝敗が決まった選挙でも燃えるはずだ。有権者には参院選、市議選と選挙疲れはあるだろうが、市政正常化のため中嶋氏に票の上積み

で力を与えて欲しい、と訴えるだろう。一方、村木氏は共産党に追随すると見られる市民連合あきる野の支持も見込めず、頼りは自前の後援会票と唯不信任決議に反対の意思を示した清水晃市議や老人介護施設の建設に積極的な奥秋利郎元市議らの支持層、そして反自公勢力にな

設に積極的な奥秋利郎元市議らの支持層、そして反自公勢力になら。得票は19年が村木氏(共産、立民、市民連合推薦)13786、沢井敏和氏(自公推薦)13698、15年が沢井氏12169、村木氏11955、11年が白井孝氏(自公推薦)15738、影山保氏(共産推薦)9878だった。

今回は両氏の一騎打ちになるとの前提で、40%に届くかどうかが目安。40%を上回るほど中嶋氏の票が伸びるはずだ。中嶋氏信認度の高さは1万5000

票が試金石になる。

■ 新市政の船出は、志清会と公明でつくる与党が、村木市政の混乱の修正に丸で当たることで推進力を増すだろう。が、村木氏が建設を進めようとした老人介護施設は白紙になるが、建設が計画された市有地の活用は課題として残る。10億円を超える予算で取得し、遊休地のままでは税収は上がらず、財政安定化にも寄与しない。

民間企業なら自己資本に対する「経営の効率性」が強く求められる。自治体だろうと同じだ。10億円取得した土地を活用できないなら行政の怠慢と言われても仕方がない。中嶋氏は五日市選出の市議として、多摩産材の活用、空き家・空き店舗対策、山間地への移住などに熱心に取り組んできた。今後は五日市を中心とした政策に偏ることなく、少子高齢化対策、市内商工の経済対策、観光の活性化など市政全般に目を配り、あきる野市の新しいビジョンを示していくことが問われる。

本紙7月9日号でも

## 4年後 秋川対五日市分裂の芽も

本に対する「経営の効率性」が強く求められる。自治体だろうと同じだ。10億円取得した土地を活用できないなら行政の怠慢と言われても仕方がない。中嶋氏は五日市選出の市議として、多摩産材の活用、空き家・空き店舗対策、山間地への移住などに熱心に取り組んできた。今後は五日市を中心とした政策に偏ることなく、少子高齢化対策、市内商工の経済対策、観光の活性化など市政全般に目を配り、あきる野市の新しいビジョンを示していくことが問われる。

本紙7月9日号でも

触れ、繰り返すことになるが、財政の安定化、少子高齢化対策、防災対策、地域経済の活性化、そして国際課題となるSDGS(持続可能な開発目標)の推進など市内外に課題が山積する。問題と向き合い市政の舵取りをする市長の責任はことのほか重く、高い政策能力、優れた見識、強いリーダーシップなどが求められる。

求められる市長像を著しく欠くことになれば、交代論がすぐさま秋川地区の白井建市議の支持層から浮上するだろう。白井後援会には今回の市長候補選定に疑問の声もある。この声を挙げさせないことが中嶋市政を長くする。仮に上がれば旧秋川対旧五日市の対決になる。それは早ければ4年後かも知れない。

反村木で結束した志清会だが、敵が消えれば、新しい争いの芽が出るのが国政、地方を問わず政治の世界だ。まとめ役として今後も

分裂の芽を摘む手段として、秋川流域から都議をとの目標は有効だろう。市議が次のステージに進むポストが市長だけでなく都議があれば落ち着く。本来西多摩選挙区は自民が2議選を独占してきた。田中雅夫市長、白井孝都議の時代に帰るといふことだ。そのために日の出町、檜原村との秋川流域の一体性の確認を強くしていくことが大切になる。

■ご意見、情報提供は090(8460)9688岡村まで。

HomePage & LandingPage

**ホームページ制作**

スマートフォンでの閲覧を快適にするレスポンス対応、更新可能なブログシステムを実装など、制作だけでなく、公開後の更新サポートや運用に関するご相談もお任せください。

**ライトプラン ¥80,000~**

CMS(更新)	レスポンス
ページ数	4
デザイン	テーマカスタマイズ

ランディングページ制作、メンテナンスもお任せください。

編集室システムU ☎090-8460-9688